

免震重要棟の設置

大規模地震等によって原子力発電所の事故が発生した場合の対応に、より万全を期すため、免震重要棟の建設工事を進めていましたが、平成26年10月、同施設の建設工事を終了しました。今後、国による適合性確認審査や検査を受けた後、緊急時対策所として使用します。

☑ 免震重要棟の概要

○建物規模

地上3階建て、延べ床面積約4,900m²

○設置場所

発電所構内の高台（海拔約50m）

○主要設備

専用電源設備および燃料タンク、水タンク、放射性物質を低減する空調設備、放射性物質の持ち込みを防止する放射線管理設備、対策要員の収容スペースおよび長期滞在を考慮した医務室・仮眠室、プラント情報表示システム※、総合原子力防災ネットワーク※
（※については今後、順次設置予定）

*免震重要棟では、外部からの支援がない状態においても、300人の人員が1週間対応できるよう食糧や飲料水等を確保します。



写真手前、発電所構内の高台（50m）に建設した免震重要棟

核物質防護上の観点から、一部写真を加工しています

代替電源設備（ガスタービン発電機車）の配備

重大事故等対策として、原子炉や燃料プールを冷やすために必要な電源を確保する対策として、平成26年10月、海拔44mの高台にガスタービン発電機車4台を配備しました。

☑ ガスタービン発電機車

発電出力：4,000kVA×4台

燃料：軽油

寸法：（長さ）約14.8m×（高さ）約4.3m
×（幅）約4.3m



発電所構内の高台（44m）に配備したガスタービン発電機車

～島根県・鳥取県主催の原子力防災訓練に参加しました～

10月18日、島根県・鳥取県の原子力防災訓練が行われ、避難訓練や緊急時モニタリング訓練などが実施されました。当社は、住民の皆さまの避難訓練において、放射性物質による汚染の有無を調べるスクリーニングなどを行いました。これからも原子力事業者として、原子力防災対策についても、関係する自治体の方々と連携しながら更なる取り組みを進めていきます。

避難訓練における車両スクリーニングの様子（スクリーニング会場：吉田健康福祉センター）

